

農林29号 Ni29

株出し多収・早期高糖に優れる

- 生育初期の伸長性はF161より優れ、特に南大東島における株出しでF161より多収です。
- 株出し多収に加え登熟が早く早期収穫に適しており、作業性にも優れた品種です。
- 茎の直立性や耐倒伏性に優れ、脱葉が容易です。



ケーンくん

農林29号(Ni29)は、
平成22年に
沖縄県南大東島向けの
奨励品種に採用されました。

■主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	初期伸長性	出穂性	風折抵抗性	耐倒伏性	脱葉性
Ni29	中	中	中	やや良	少	やや強	やや強	易
F161	やや良	中	やや良	中	極少	やや強	弱	易
Ni9	中	強	良	良	多	強	やや強	難
NCo310	中	中	中	中	多	強	中	難

■病害虫抵抗性

	黒穂病	さび病	葉焼病	メイチュウ抵抗性
Ni29	中	中	中	中
F161	強	強	中	中
Ni9	弱	やや弱	中	中
NCo310	極弱	弱	中	中

NCo310はさとうきび審査基準に記載された標準品種の1つで品種登録の際に使用します。



左:F161

中央:Ni29

右:Ni9

栽培上のワンポイント

- 春植えでは収量が低い傾向にあるので、植え付け苗数を3割程度増やして密植しましょう。
- 台風時の折損が多いことがあるので、強風害を受けにくいほ場に植え、植え付けを早めるなどの注意が必要です。



協力：沖縄県農業研究センター (独)農研機構九州沖縄農業研究センター